

武蔵野公会堂の当面の方向性の選択肢（令和8年10月20日時点）

区 分		⑩案：既存施設を解体し、暫定施設を設置するプラン（外構芝生化）		
プラン案		⑩案：イメージA ホール200席＋諸室＋広場	⑩案：イメージB ホール150席＋諸室＋広場	⑩案：イメージC ホール150席＋広場
工事概要		・既存施設を解体し、新たな暫定施設に建て替える。 ・極力コスト抑えながら必要なホール機能・ロビー空間・諸室を確保する。 ・屋外オープンスペースを広く確保する。	・既存施設を解体し、新たな暫定施設に建て替える。 ・極力コスト抑えながら最小限必要なホール機能・ロビー空間・諸室を確保する。 ・屋外オープンスペースを広く確保する。	・既存施設を解体し、新たな暫定施設に建て替える。 ・極力コスト抑えながら最小限必要なホール機能を確保する。 ・屋外オープンスペースを広く確保する。
工事内容・建物性能	構 造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造
	建 築	全面更新	全面更新	全面更新
	電気設備	全面更新	全面更新	全面更新
	機械設備	全面更新	全面更新	全面更新
	舞台設備	全面更新 （仕様を簡素化）	全面更新 （仕様を簡素化）	全面更新 （仕様を簡素化）
	バリアフリー	バリアフリー法 適合	バリアフリー法 適合	バリアフリー法 適合
	耐震性向上	重要度係数1.25相当	重要度係数1.25相当	重要度係数1.25相当
施設機能	ホール規模	200席	150席	150席
	客席形態	平土間＋可動席（移動観覧席）	平土間＋可動席	平土間＋可動席
	ホール用途	音楽、ダンス、演劇、寄席、式典・講演会・会議、展示、軽スポーツなど	音楽、ダンス、寄席、講演会・会議、展示、軽スポーツなど	音楽、ダンス、寄席、講演会・会議、展示、軽スポーツなど
	諸室	諸室×5 ※楽屋を含む	諸室×3 ※楽屋を含む	なし ※楽屋は舞台裏の廊下空間を利用
	屋内共用部	ロビー	ロビー	なし
	機械室	全て屋内	一部屋内＋一部屋外 ※騒音の発生しにくい設備を屋外に設ける想定	全て屋外 ※空調機械の騒音等において近隣住民への影響の懸念あり
	建物の開放性（まちとのつながり）	○	○	△ ※ロビー等の共用空間がない
	敷地の開放性（まちとのつながり）	○	◎	◎
	一時滞在施設	○	○	○
	備蓄倉庫	あり	あり	なし ※屋外コンテナを想定
規模	延床面積(㎡)	1,000	800	600
	敷地面積－建築面積(㎡)	904	1,104	1,304
費用	工事見込額 ^{※1}	約12億円 現時点から工事年までの上昇等見込む	約9.6億円 現時点から工事年までの上昇等見込む	約7.2億円 現時点から工事年までの上昇等見込む
	現施設解体費用	約5.2億円	約5.2億円	約5.2億円
※2 期間	休館期間 (R8.7月から換算)	52カ月 ^{※3}	51カ月 ^{※3}	50カ月
	開館予定	令和12(2030)年11月	令和12(2030)年10月	令和12(2030)年9月

※1・・・⑩案-A、B、Cの各プランは現時点の建築費をベースに、工期にあわせた物価高騰やスライド条項等一定の上昇率を見込んで算出した概算額（調査、設計、工事監理等の委託料、既存施設解体工事費は含んでいない）。

※2・・・期間については、今後方向性を決定し、令和9年第1回定例会において、設計委託料等の当初予算が認められることを仮定して算出。

※3・・・事業費の総額が10億円以上の場合、PPP/PFI手法の優先的検討の対象になる。ただし、既にPPP/PFI手法の導入が前提とされている場合は簡易検討及び詳細検討を省略できる（武蔵野市PPP/PFI手法導入優先的検討に関する要綱第5条第1項及び第2項）。